

を云ふのである。機械發明以前、自分に用ひるものは自分で作り又  
假令他と交換するにしても、極く狭い範圍で行はれてゐた頃には別  
に資本主義制度などいふものも生ずるに至らなかつたが機械發明  
以來之等の家内工業が工場工業に變り生産の規模が大となつてから  
こいふものは生産を企つるに當つては先づ原料、工場、機械その他  
少からぬ固定資本が必要となつて來たので仕事の總勘定をするまで  
には可成りの日時を要するやうになつた爲めに無一物の素寒貧では  
逆でも工場が經營して行く事が出来ないやうになつた。その結果と  
して自然に資本家なるものが生じて一方資本の持合せのない者は資  
本家の下に賃銀労働者として雇はるゝに至つたのである。そして資  
本家は生産品が賣却され又代金の回收される以前その日暮しの労働

者の爲めにその流動資本の一部を割いて賃銀を支拂ひ、その代り貨  
物が生産され賣却さればその収益の全部を懐中に納めるやうにな  
つた。斯くの如き産業組織——資本主義制度——の下に於ては富の  
分配の公正といふ事は素より望まれない。富の分配の公平とは生産  
に關與した者がその生産に貢獻した勢力の分量と之に對して與へら  
れた報酬の分量とが同じの場合に於て始めて期する事の出来るもの  
である。然るに今日に於ては朝から晩まで汗水垂して働く者が尙且  
自己一身の生活を全うする事も出来ぬのみか永久にその體力氣力を  
消耗しその子弟の教養をも充分にする事が出来ずにある半面に於て  
資本家は遊んでゐて贅澤三昧の限りを盡してゐる。富の分配の公平  
もあつたものではない。之れ全く資本家がその正當な割け前以上の